

IT化による健康状態（数値）の管理と改善

フローチャートの作成により発見された改善が必要な部分に対して、様々な処方箋（＝対処法）があるかと思います。その中で今回は比較的手軽に導入でき、また初歩的なことから高度なことまで幅広い対処ができる、社内のIT化についてみてみます。

IT化は業務の無駄を省き適切なデータの管理を行うことで、会社の健康状態（数値）を効率よくタイムリーに把握するために非常に有効なものです。貴社にとって必要なものをご提案し、治療（＝改善）を進めていきます。

①パソコンの導入

中小零細企業では業務にパソコンを導入していない会社もまだまだあります。またパソコンはあってもメールは使用していなかったり、特定の作業のみでパソコンを使用していたりと業務におけるパソコンの活用は限定的です。社員レベルで見ても特定の人しか扱えないといった場合もあります。そういった会社では本格的に業務にパソコンを活用して業務の改善を行います。

ではパソコンはどのような業務に活用できるのでしょうか。基本的なところでは取引先などとの連絡手段としてのメールの活用です。ファイルを添付すれば Fax よりも効率よくデータのやり取りができ郵便よりも早く送ることができます。またペーパーレスになりますので地球環境にも優しくコスト削減にもなります。

更に手作業で売掛金や買掛金を集計している会社では、表計算ソフトなどで管理することで取引先ごとの金額を正確に管理することができ集計ミスや作業時間の短縮を図ることができます。また集計漏れがあった場合もすぐに金額を修正することができます。

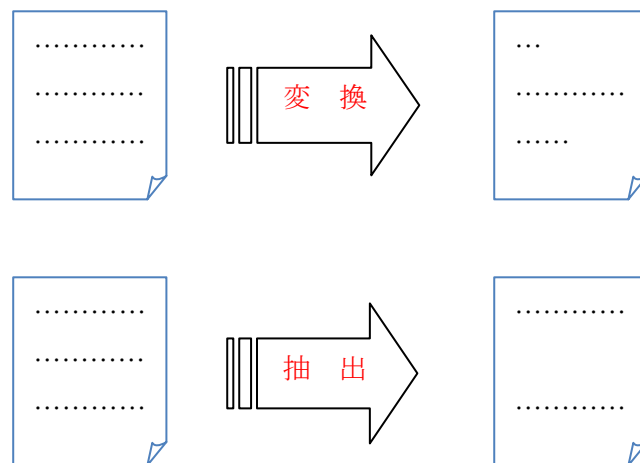
そのほか給与計算を自社で行っている会社では毎月の残業時間や勤怠管理、社会保険料や源泉所得税の計算など、非常に煩雑な作業を行っているかと思います。これらもパソコンで適正に計算し、源泉所得税や社会保険料の徴収額や納付状況の管理をすることにより、その徴収漏れや納付漏れを防ぐことができます。

②会計ソフトなどの導入

すでに業務にパソコンを導入されている会社でしたら、市販の会計ソフトや販売管理ソフト、エクセルのマクロやデータベース又はシステムの導入による改善を行います。

会計ソフトを導入し自計化することで毎日の起票作業を省略することができ、会計データから過去の情報なども随時確認することにより常に会社の状況を確認することができます。また業種によっては販売・在庫管理ソフトを導入することで、販売とともに期中の在庫管理を行い月次損益をより正確に求めることができます。

またエクセルのマクロを使うことで単純なルーチンワークを自動で行うことができ、作業の効率化を図るとともに正確性を上昇させることができます。他にもデータベースソフトを使用することで売上などのデータから特定の条件に合致したものを抽出したりとデータの管理を一層強化することができます。



ある程度の規模の会社でしたらコストはかかってしまいますが、貴社用に仕様変更したシステムを導入することで、各部署や部門毎に行っていたデータ管理などの共有化や、受注・発注、請求書の発行なども行うことができ業務の効率化を図ることができます。

これらの導入は貴社の状況に合わせてご提案させていただきます。

IT 化は毎日の栄養管理や運動により健康状態を改善していこうというものです。会社によってその処方箋の内容はさまざまですが、IT 化だけでは短期に劇的な効果はなかなか得られません。薬の投与の一部として内部的に治療を行っていきます。

薬の投与により治療が社内で完結できればよいですが、それだけでは治療できない場合には金融機関等を含めた集中治療が必要となります。入院をして徹底的に健康状態を調べ上げ、不採算部門の閉鎖やモラトリアム法の適用によるリスケジュール等の総合的な治療を行ないます。

そこで次は入院しての集中治療計画を見ていきます。

